

# 光明寺だより

第106号  
浄土真宗本願寺派  
光明寺

〒793-0030 西条市大町550  
TEL 0897-53-4583



## 心に残る詩

希望 東京内田毅

森の中の大きな木が  
嵐で倒れてしまったら  
今まで陽の当たらなかつた  
地面から  
小さな芽が出てくるように  
大きな希望が  
失われたら  
それは悲しいこと  
だけ  
小さな希望が  
育っていくことを  
忘れないでいたい

産経新聞「朝の詩」より



## お知らせ

おねはん  
今年の「涅槃会」は中止いたします。

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要  
立教開宗800年



### 【法要期日】

2023 (令和5年)

3月29日～5月21日 (5期30日)

## 一口法話

正岡子規

―その生き方に学ぶ



講演活動などを通じて日本の歴史や文化のすばらしさを広く発信している白駒妃登美さんの著書『感動する日本史』に大変味わい深いお話が掲載されていましたのでご紹介します。

白駒さんは平成22年7月、根治したと思われていた子宮頸癌けいがんが肺に転移し、一つまた一つと癌細胞がん細胞が増えていき「この状況で、助かった人を見たことがない」と言う主治医の言葉を聞き、半ば死を覚悟していた時のことです。

幼い頃から歴史上の人物の伝記を毎日のように読み、その人物の生き方に惹かれていた白駒さんは正岡子規（1867～1902）の生き方を思い起こすのです。

子規は、松山藩の武家の子として生まれますが、翌年、明治維新になり、封建制度が廃止され武士の歴史は終わりを遂げます。しかし、誰よりも武士であるこ

との誇りを持っていた子規は、「武士道における覚悟とは、何か」ということを常に自問自答していたそうです。

そうしてある日、子規はその結論を得ます。それは、

「武士道における覚悟とは、いついかなる時でも平然と死ねることだ」というものでした。

その後、子規は20代で脊椎せきついカリエスという難病にかかってしまいました。この病気は結核菌が脊椎（背中）に入り膿うみがしみ出すというもので、身体中に激痛が走るともつらい病気だそうです。当時は不治の病と言われていました。

その苦しみの病床の中で、子規は本当の「覚悟」とは自分の思っていたものと真逆まぎやくであることに気付くのです。

本当の「覚悟」とは、「いついかなる時でも平然と死ねることではない。どんなに痛くても、どんなに苦しくても、「いま」という一瞬一瞬は生かされているのだから、その生かされている「いま」を平然と生きることこそが本当の覚悟だと悟ったのです。

平然と生きるとは、「何事もなかった

かのように平気で生きる」ということです。

それは、順境にあっても驕おごらず、自惚うぬぼれず、逆境にあっても腐くさらず、僻ひがまず、肅々と淡々と、力の限り生きるということとです。そのためには、「順境・逆境、共に大切なご縁だ」と、受け止める智慧がなければなりません。

子規の、病人とは思えない明るさや精力的な文筆活動の裏にはこのような智慧を身につけていたのです。

病と闘っていた白駒さんは、そんな子規の生き方に自分の姿を重ね合わせ、「私も子規のように最期さいごの瞬間を迎えるまで平然と生き、自分らしく輝いていた」と強く心に思うようになるのです。

そうして、そのような生き方を始めて、しばらくすると彼女の身の上に小さな変化が起ころのです。

それまで不安で眠れぬ毎日を通り、子どもの寝顔を見ながら涙が止まらなかつた彼女が夜もぐっすり眠れるようになったというのです。

この体験を通して白駒さんは、大事なことに気付くのです。それは、

……人生の悩みの多くは過去に対する後悔か、未来への不安によって起こるものだ。だから過去も未来も手放して「いま」に生きれば、ほとんどの悩みは消えてなくなるのではないだろうか。

もし、いまこの瞬間に悩みがあるという人がいれば、それは多分「ここ」を見ていないのではないか。もつといい環境、もつといいご縁があるのではないかと周りをキョロキョロ見たり、人と自分を比べ一喜一憂したりするから悩みが尽きないのではないか……

まことにその通りだと思います。時間軸を「いま」に合わせ、視点を「ここ」という一点に集中する。この生き方こそ、仏教の説くところであります。

こうして不安も消え、夜もぐっすり眠れるようになった白駒さんでしたが、更なる大きな変化が彼女の身の上にかかるのです。

それは、肺に転移していたいくつかの癌細胞が検査の結果すべて消えていたのです。本当に不思議なことが起こるものです。

おそらくは、悩みがなくなり、心が安らかな状態になることで免疫力が向上

し、服用していた薬（抗がん剤）との相乗効果で癌細胞が消えたのではないかと思われます。昔から「病は氣から」とか、仏教では「心身一如」という言葉があるように、心と体は密接なつながりがあります。現在でも多くの医療機関（大阪国際にがんセンターなど）で「心と病」の研究がされており、とりわけストレスが病に大きな影響を与えていることはご存知のことだと思えます。

白駒さんの場合も、子規のような生き方を続けるうちに、悩みも癌も消えていったのです。「子規が私のいのちを救って下さった」と語っていますが、むべなるかなです。

思えば、私たちがたとえ何百年生きてとしても、私が生きられるのは「いま」であり「ここ」しかありません。「いま」をおろそかにして、「ここ」に集中できなければ、生きているとは言えません。

もとより人生は平坦ではありません、山あり谷ありで、辛いこと苦しいことが次々と起こります。そんな時「いま」を逃げ、「ここ」を放棄するような生き方をしていたのでは、その人生はまことに空しいものになります。

一度きりの人生です。生きた価値のある、生まれた甲斐のある人生に仕上げるために、子規の生き方《どんなに苦しくても、「いま」という一瞬一瞬は生かされているのだから、その生かされている「いま」を平然と生きる》は、大いに参考になると思えます。

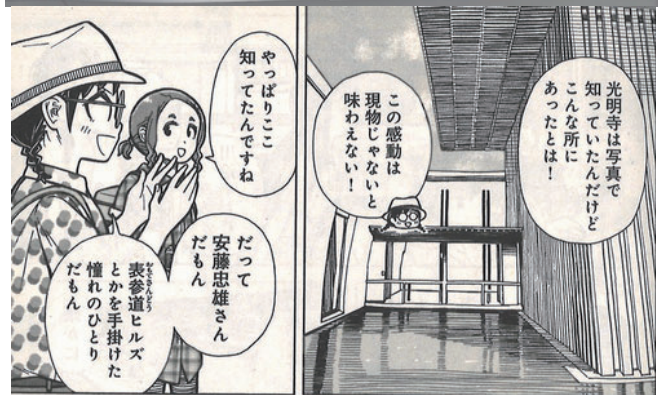
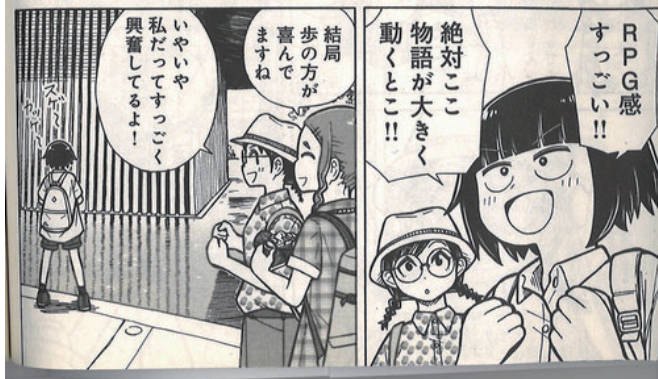




別離の年の出来事 2021年(令和3年)年回表

身近な人を亡くされた年には、どんな出来事があったでしょうか？改めて振り返ってみましょう。亡くなってから1年目の法事は1周忌、2年目は3回忌、6年目は7回忌、12年目は13回忌となっていくます。お法事は亡き人を偲びつつ、この私が仏縁に遭わせて頂くための大切な仏事です。

1周忌 令和2年 (2020)	「新型コロナウイルス」3月東京オリンピック延期。5月新型コロナウイルスで「緊急事態宣言」が国内初の宣言。6月「香港国家安全維持法案」施工。7月西日本豪雨。9月菅義偉第99代内閣総理大臣に就任。
3回忌 平成31年 令和元年 (2019)	「新元号令和」4月池袋暴走事故で母娘死亡。5月天皇生前退位により元号が「令和」に。7月京都アニメーションで放火殺人事件。8月渋野日向子全英女子ゴルフで優勝。9月ラグビーW杯日本で開催。日本ベスト8。
7回忌 平成27年 (2015)	「安保関連法案採決」6月東海道新幹線で初の火災事故。5月大阪都構想、住民投票で否決される。9月茨城見常総市の鬼怒川の堤防が決壊。11月パリ同時多発テロで130人以上死亡。
13回忌 平成21年 (2009)	「オバマ第44代米国大統領に就任」5月前韓国大統領・盧武鉉が自殺。6月新型インフルエンザ大流行。WHO パンデミック(世界的大流行)宣言。8月民主党が第1党に躍進。
17回忌 平成17年 (2005)	「JR福知山線脱線事故」2月中部国際空港、愛知県に開港。3月愛知県で愛・地球博開幕。9月自民党大勝で「小泉チルドレン」83人誕生。10月郵政民営化法案成立。プロ野球日本シリーズ、31年ぶりロッテ優勝。11月マンション耐震強度偽装問題。
25回忌 平成9年 (1997)	「神戸殺傷事件」2月神戸で小学生殺傷事件が発生。中3男子逮捕。4月消費税が3%から5%に引き上げ。6月臓器移植法が成立。8月ダイアナ妃が交通事故で死亡。11月大関小錦引退。12月介護保護法が成立。
33回忌 昭和64年 平成元年 (1989)	「消費税導入」1月昭和天皇崩御。「平成」に改元。2月手塚治虫胃がんのため死去。3月女子高生コンクリート詰め事件。4月消費税(3%)導入。6月天安門事件。ビルマがミャンマーに国名変更。11月ベルリンの壁撤去始まる。
50回忌 昭和47年 (1972)	「沖縄返還」1月グアム島で横井庄一さん発見。2月札幌オリンピック開催。5月沖縄返還。沖縄県発足。大阪千日デパートで火災。死者118名。6月田中角栄「日本列島改造論」を発表。10月上野動物園にパンダ来園。



発行所 ラインデジタルフロンティア(株)  
著者 帯屋ミドリ  
定価 620円+税

日本の漫画(アニメ)は今では世界でも認められた文化です。若い世代にも西条市は興味深い地域となっているようです。お子さんやお孫さん達とも話題にしてください。

帯屋ミドリ

1990年、愛媛県出身。  
第67回ちばてつや賞ヤング部門・準大賞受賞。週刊ヤングマガジン『放課後ミンコフスキー』をはじめ、やわらかスピリッツ『咲いたコスモス コスモス咲いた』、LINEマンガ『サヨナラさんかく』などを刊行。



### 俳句を楽しむ(八十五)

森本隆を



去年は結局新型コロナウイルス騒ぎで明け暮れ、今年に入ってもその感染の勢いはとまらず不自由な生活は続いています。皆さんはお変りなくお過ごしのことと思いますが、季節は順調に推移し、二月に入ってから数日単位で寒暖を繰り返す、いわば三寒四温と言われる時候となり確実に春の足音が聞こえてきています。さて、春の訪れは花で知り、春の深まりも花が教えてくれる、まことに春は花の季節。そこで今回は春の三大花、すなわち、二月の梅、三月の桃、四月の桜を詠んだ俳句をいくつか見ていきましょう。

- 梅白しまことに白く新しく 星野 立子
- 短冊の文字ひびきあふ梅まつり 原コウ子
- 勇氣こそ地の塩なれや梅真白 中村草田男
- 踏ん張って生きても一人梅の花 古賀まり子

白梅のあと紅梅の深空あり 飯田 龍太  
寒さまだ厳しい早春、他に先がけて咲く梅の花の気品とその香りを古くから日本人は大変愛してきました。冬の寒さに耐えてきて、開花した梅に春を感じた瞬間の喜びを既に万葉集の時代の人々も歌にしています。三句めの「地の塩」というのは「広く社会の腐敗を防ぐのに役立つ者を塩にたとえていう」といっ

た意味の言葉です。白梅の、そのりんとした白さに気高さをも感じたのでしようか。

三月には桃の節句があり、桃の花がよく詩歌や俳句に取り上げられますが、地方によっては桜の花と前後します。狭い土地の日本では、なだらかな傾斜地や谷間の平地に桃畑が多く、「桃源郷」という語も連想されます。

- 桃咲いて村桃色に沈みけり 鈴木真砂女
- 野に出れば人皆やさし桃の花 高野 素十
- 年寄りて人懐しき桃の花 二神 浪江
- 桃咲いて甲斐一國を曇らす 神蔵 器
- アルプスの濡れ身輝く桃の花 矢島 渚男
- 桃という木や花のイメージから、桃の花を詠んだ句には優しく艶やかな感じで、色彩感覚豊かな句が多いようです。一、二句めの何ともいえない春らしくふんわりした感じ、四句めと五句めの二句からは遠くアルプスを眺める甲州盆地の雄大な春景色、いずれも素晴らしい句ですね。近くでは、予讃線で香川県に入ると里山に桃畑が多く見られ、花が咲く頃には車窓から見る桃の花がとても美しい。

さて、三月の下旬になると日本中が桜の話一色になります。桜は春の花というより、昔から日本人にとって特別な花であり、それだけ万人に愛され、国花でもありますね。とりわけその潔く散るさまや風情が愛されてきました。桜を詠んだ句は美しさを詠んだとか、その色や風景を詠んだとか、表面的な見方は出来ません。その十七音には、様々な深い思いや感動が込められていて、読む者の想像をかきたてるものがあり作者の深く重い感情が

託されています。

土佐日記懐にあり散る桜 高浜 虚子  
虚子詠みし土佐の桜は葉となりて

ゆさゆさと大枝ゆるる桜かな 高木 産風  
桜また咲けりおくれ又咲けり 村上 鬼城

夕桜この世に残すものもなし 八幡城太郎  
長き長き戦中戦後大桜 野見山朱鳥  
みささぎへ桜千本こゑころす 三橋 敏雄  
一、二句めは呼応のおもしろさは感じますが、

それより一句めの「散る桜」という表現に注目したいですね。平安時代以来、この感じ方が日本人と桜の関係を物語ります。また、五、六、七句の三句、ゆっくりと味わえばその句の持つ意味の深さ、厳かさ、重さ、というものに行き当たりませんか。

コロナに負けず、コロナをなめず、身近な所で春を楽しんでください。



# 位職書作品



【語句】

風波尽日依山転  
星漢通宵向水連

【意味】

風波は一日中、山に当たって方向を変え  
天の川は夜を通して水に連なるごとく水天一色である

## BOOK 本

令和版

### 『仏の教え』



発行者 幻冬舎  
著者 大谷光淳  
定価 1300円 + 税

本書はご門主のご著書です。4章から構成されており、それぞれの章に具体的な疑問を設け、一問一答形式でご門主が優しく答えておられます。新しい日常に向き合うヒントがあります。

【序章】 不安な時代に向きあうために

・先行きの見えない世の中を生きていくためにはどうしたらいいのでしょうか？ほか

【第一章】 「生きる」と「悩んだとき」

・人は死んだらどうなるのですか？ほか

【第二章】 亡くなった人のためにできること

・亡くなった人を供養するために何をしたらよいのでしょうか？ほか

【第三章】 親鸞さまが教えてくれた生き方とは

・仏教はどのようなことで社会貢献しているのでしょうか？ほか

【第四章】 仏さまにおまかせして生き抜くために

・仏教でいちばん大切な教えは何でしょうか？のがよいですか？ほか



三密せんけん  
 換気しとるけん  
 はなれとくけん  
 集まらんけん

光明寺のホームページ

南岳山光明寺

検索



言葉のプレゼント

誰かに何かをしてもらうことを考えるのではなく、今の自分なら何ができるかを考えることが大切である

洪沢栄一



「光明寺だより」をご家族の皆さんでお読みください

★次回発行予定…7月中旬



★Line Digital Frontier (株)発行のライン漫画『ぐるぐるてくてく第4巻』（帯屋ミドリ著書）に光明寺のことが紹介されました。

★関連記事（5ページ）

★新型コロナウイルスの終息のめどがたちません。この状況を鑑み、本年の「涅槃会」は中止することになりました。

★昨年十月のがん手術後、住職の体調は順調に回復しております。法務（葬儀法要）も以前のように勤めております。現在は月一度、愛大附属病院で経過観察を受けております。

★住職の子どもたちもそれぞれに順調に成長しております。長女（心）は4月から小学校2年生。次女（美乃莉）は幼稚園の年長さん。長男（光）は7月で満3歳になります。健康で育つてくれることを願うばかりです。